

おあしす

と、校歌の一番にあるように、有浦小学校は昭和十五年四月、美しい田園の中に尋常小学校として創立されました。

学区は、大館駅から長木川にいたる商店街や住宅街、及び周辺の新興住宅地などからなり、新旧が交錯する若く活力あふれる地域です。そのためか、児童数の減少はなく、今や市内一の大きさととなりました。

昭和五十一年、火災による校舎消失という悲しい出来事もありました。しかし、美しい前庭の木々は健在。春の桜、そして秋の紅葉の美しさは「かしこくゆたかに たくましく」頑張る有浦っ子の姿とともに、本校の自慢の一つです。



正門から見た校舎

有浦小学校



♪見ろ見ろ 僕らの銀杏の大樹
大樹だ梢だ あ金の葉だ
磨るんだ情操 黄金のように
つくるよ品格 大樹のように♪

校歌二番の「銀杏の大樹」は有浦の象徴。心豊かで、品格ある有浦っ子に！との願いを込め、昨年から「心の教育」に力を入れていきます。

**お互いの良さを認め合う
心豊かな有浦っ子に**

○5・6年生は

昨年度から、比内養護学校の中等部と「交流学习」を行っています。各学級毎に養護学校を訪問し、一緒に作業学習を行うものです。共同作業の中で、養護学校の人たちのまじめさや明るさを学び、逆に有浦っ子の関心、意欲の強さは、刺激になったことと思います。この交流学习を子供たちは楽しみにしており、今度は、有浦小に招待することになっています。

○3・4年生は

今年から、水交苑、神山荘、大館園を学級ごとに訪問。お年寄りと直接ふれあう経験のない子供たちは、最初のうちは恐る恐る話しかけていました。しかし、お年寄りの笑顔と涙を流して喜ぶ姿に子供たちは感動。



4年生のふれあい学習 一神山荘訪問一

人の喜ぶ姿に自分も喜ぶ。という貴重な経験をさせていただいています。

○1・2年生は

公園や長木川周辺のクリーンアップを頑張っています。また、二月には、来年入学する園児たちを招待しての交流会を実施。チョッピリ先輩気分を味わっています。



「あやとりはこうするんだよ」やさしく教えて下さる地域の方

○全校では

アルミ缶の回収運動を始めて八年。昨年は、収益金で車いすを社会福祉協議会に寄贈。思いもよらなかつた「アイ・ラブ・大館賞」をいただきました。

有浦小の自慢というところ、何といたって「発明工夫」です。全国発明くふう展で、恩賜記念賞という日本一の賞を、平成五年、七年、九年と三度も受賞。今年の地区発明工夫展には、百三十八点も出品。親子で取り組むことが伝統になっています。

有浦 発明工夫王国

有浦



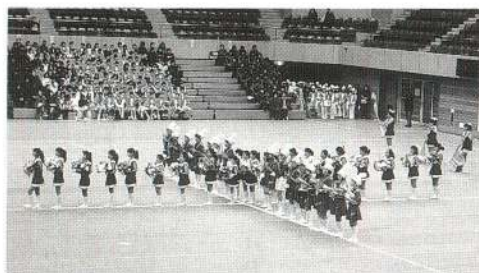
大館地区発明工夫展で特賞を受賞した子供たち

運動文化面でも!

元々スポーツの盛んな有浦。昨年は市民駅伝優勝。今年はずりレー優勝、野球準優勝と輝かしい活躍をしています。ミニバスも二年前は全県大会にアベック出場を果たしました。

文化面では、マーチングフェスティバル東北大会に初出場。はつらつとした感動の演技に、有浦っ子の面目躍如。

今、有浦の子供は、一人ひとりが輝いています。



マーチングフェスティバル東北大会はつらつと演技する音楽部とパトロン部

大館市立有浦小学校
〒017-0043
大館市有浦4丁目6-55
TEL 42-2834
校長・安達 晃博
児童数・595人
創立・昭和15年

次回(1月16日号)は下川沿中学校が登場します。

「おあしす」は、内容、デザインなど、すべて学校側で作成し、学校の紹介、自慢などをしてもらうコーナーです。